

全国発信記事 ▲▽▲▽ 大阪支部

▲▽▲▽「和歌山県」「和歌山県議会」へ申し入れ▲▽▲▽

船員政策を具現化するための活動として大阪支部は、和歌山県と和歌山県議会に活動方針に基づく申し入れ活動を行った。

申し入れには、和田文男関西地方支部長代行、大阪支部執行部員2人、内藤良太さん（南海フェリー・二等航海士）が参加し、浦口高典和歌山県議会議員にご同行いただいた

各申し入れでは組合側から申し入れの趣旨を丁寧に説明、理解を求めるとともに、船員政策の実施について強く要請した。申し入れの主な内容は

- ▽新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける事業者に対する運航支援策について
- ▽港湾施設の強化・改修、港湾使用料の見直しについて
- ▽船員確保に向けた海事思想教育の普及について
- ▽日本人船員の重要性と船員税制の早期実現について一など。

自治体・議会の対応

■ 和歌山県

フェリーは公共交通機関としての重要な役割であることは理解しており、過去には約1億円の支援策を行った経緯がある。知事にも報告した上で県政として、企業と連携しながら、維持・存続に向けた支援策を考えたい。

▽具体的な支援策などについては、港湾局など担当部署との調整を図ったうえで行いたい。

■ 和歌山県議会

申し入れに至った経緯、趣旨をしっかりと議長に伝えたい。

大阪支部は引き続き活動方針の具現化に向け活動を展開していく。

「海員だより」